（その三）

工場又は事業場の名称	東京純薬工業株式会社

(2)　揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1　1	2　1	2　3	3　1	3　2	5　3	5　4			

その他対策（１９、２９、３９、４９、５９、９９）を記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1　1	2　1	2　3	3　1	3　2	5　3	5　4			

（その四）

工場又は事業場の名称	東京純薬工業株式会社

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)　基準年度における処理回収率等

	基準年度
	平成１５年度
使用量（ｋｇ/年度）	１５２７７２８． ×１０
排出等の量（ｋｇ/年度）	２４８９．
処理回収率（％）	９９．

基準年度までに，浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数
0

備考　1　この項の提出は任意であること。
2　基準年度は、２(1)の基準年度と一致させること。
3　使用量及び排出等の量は、２(1)の基準年度におけるものと一致させること。
（使用量で１億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）。
4　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字２桁で記載すること。
｛（使用量－排出等の量）／使用量｝×１００

(2)　基準年度以前から実施している対策の内容
基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
１１	２１	２３	３１	３２	５３	５４			

その他対策（１９、２９、３９、４９、５９、９９）を記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　この項の提出は任意であること。